

外国への日本人研究者派遣事業

外国への日本人研究者派遣事業

第1 派遣事業の目的

国内の若手日本人研究者を外国の研究機関及び大学等に派遣してエイズ対策に関する研究を行わせ、その成果をわが国のエイズ対策研究に反映させる。

第2 対象となる日本人研究者

エイズ対策研究事業（若手育成型は除く。）の研究代表者又は研究分担者が推薦する研究代表者又は研究分担者と同一所属機関の若手研究者（リサーチ・レジデントは除く。）とする。

第3 派遣期間

会計年度を単位とする1ヵ年の期間のうち原則として6ヵ月間程度とする。なお、これにより難しい場合は、その理由を申請書の該当欄に明記するものとする。

第4 エイズ対策研究推進事業運営委員会

エイズ対策研究推進事業運営委員会においては、募集、選考について検討するほか、1年に1回研究実績を評価する。また、必要に応じて、研究進捗状況を評価することがある。

第5 財団が負担する費用

この事業で財団が負担する費用は、次のとおりである。

- (1) 航空賃 …………… 出発地の空港から到着地の空港までの往復の航空賃
- (2) 日 当 …………… 国家公務員に準じて支給
- (3) 宿泊料 …………… 国家公務員に準じて支給
- (4) 雑 費 …………… 出入国税及び空港施設使用料、査証申請料等
- (5) 海外旅行傷害保険料 …………… 派遣期間を保険期間とする海外旅行傷害保険料

第6 費用の積算方法

外国に派遣する日本人研究者を次の2ランクに分類し、各ランクに応じて積算するものとする。
なお、国家公務員については、在職する等級号俸に基づき、国家公務員等の旅費に関する法律（旅費法）に定める基準により積算することができるものとする。

- Aランク …………… (1) エイズ対策研究の分野において、顕著な功績を有する者
(2) エイズ対策研究機関の長又はこれに準ずる者

- Bランク …………… エイズ対策研究の分野において優れた研究を行っている者であって、上記以外のもの

1 航空賃は、次のとおりとする。

Aランク …… ビジネスクラス

Bランク …… エコノミークラス

2 日当及び宿泊料は、次のとおりとする。

ランク	区 分	指定都市	甲 地 方	乙 地 方	丙 地 方
Aランク	日 当	8,300円	7,000円	5,600円	5,100円
	宿 泊 料	25,700円	21,500円	17,200円	15,550円
Bランク	日 当	6,200円	5,200円	4,200円	3,800円
	宿 泊 料	19,300円	16,100円	12,900円	11,600円

① この表の日当は、1日当たりの単価を示し、宿泊料は1夜当たりの単価を示す。

② 外国を出発した日及び外国に到着した日の旅行を除く航空機による旅行の日の日当は、丙地方の額とする。

③ 同一地方に長期に滞在する場合の日当及び宿泊料は、滞在日数30日までは100%、31日から60日までは90%、61日以上は80%の支給率を乗じた額とする。

④ 指定都市、甲地方、乙地方及び丙地方とは、旅費法の規定と同じとする。

3 雑費は、出入国税及び空港施設使用料、査証申請料等の実費とする。

4 海外旅行傷害保険料は、補償限度額を次の表とする海外旅行傷害保険に係る保険料とする。

死亡・後遺症	傷 害 治 療 費	疾 病 治 療 費	疾 病 死 亡	救 護 者 費 用
40,000千円	3,000千円	3,000千円	10,000千円	2,000千円

第7 費用の支給方法

航空賃、雑費及び海外旅行傷害保険料は、原則として財団が旅行代理店に直接支払うものとする。

日当、宿泊料は、派遣申請者の指定する銀行口座（日本国内）に送金することによって行うものとする。各費用の支給方法は、次のとおりとする。

(1) 航空賃は、原則として財団において手配した往復の航空券代を支給する。

なお、航空券は、旅行代理店を通じて派遣研究者に給付する。

(2) 日当及び宿泊料は、財団で算定した額を支給する。

(3) 雑費は、出入国税及び空港施設使用料、査証申請料等が必要な場合に、実費を支給する。

(4) 海外傷害保険料は、財団が傷害保険加入の手続きを行い、その保険料を負担する。加入した傷害保険の保険証書は、代理店を通じて派遣研究者に交付する。

第8 派遣に係る手続き等

1 応募の方法

外国への日本人研究者派遣事業に応募する研究代表者は、次に掲げる書類を財団に提出す

る。

- (1) 派遣申請書 (様式1)
- (2) 履歴書 (派遣研究者) (様式2)
- (3) 派遣承諾書 (派遣研究者) (様式3)
- (4) 派遣推薦書 (研究代表者又は研究分担者) (様式4)
- (5) 派遣承諾書 (所属機関の長) (様式5)
- (6) 派遣外国旅行行程調書 (様式6)
- (7) 派遣先機関からの招へい状
- (8) 派遣先機関からの招へい状の日本語訳

なお、財団は、応募申請の採用の可否について、申請者、派遣研究者、派遣研究者の所属する機関の長に文書で通知するものとする。

2 費用に関する手続き

財団からの採択通知を受理した派遣研究者は、「派遣費用振込預金口座届出書」(様式7)を日本を出発する15日前までに財団に提出する。

3 派遣期間等を変更する場合の手続き

派遣期間及び派遣先を変更しようとする場合には、派遣研究者は、派遣期間開始日の1ヵ月前までに「派遣期間等変更申請書」(様式8)及び「派遣外国旅行行程調書」(様式6)を財団に提出し、その承認を受けなければならない。

4 派遣を中止する場合の手続き

派遣を中止しようとする場合には、派遣研究者は、事前に「派遣中止申請書」(様式9)を財団に提出し、その承認を受けなければならない。

第9 研究成果の報告等

- 1 派遣研究者は、派遣期間終了後1ヵ月又は翌年度の4月5日のいずれか早い期日までに、「派遣研究実績報告書」(様式10)を財団に提出しなければならない。
- 2 財団は、研究成果の報告を刊行物等により公表することができる。
- 3 派遣された研究者が派遣による研究成果を発表する場合には、財団及び派遣先機関等の承諾を得るとともに、当該研究が財団のエイズ対策研究推進事業の日本人研究者派遣事業によるものである旨を明記しなければならない。

第10 その他

本事業採択後において、財団が指示する書類の提出及びその期限を守らないなど、事業の円滑な実施に支障を来す者については、採択の取り消しを行うこともあるので十分に留意すること。

(様式1)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派遣申請書

平成 年 月 日

公益財団法人エイズ予防財団理事長 殿

申請者	氏名	(研究代表者)	印	職名	
	所属機関				
	所在地	(〒 -)	TEL	-	- (内線)
			FAX	-	-
	研究課題名				

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣を下記のとおり申請します。

記

派遣研究者 氏名		19 年 月 日生 (歳)		
所属機関		職名		
所属機関 所在地	(〒 -)	TEL	-	- (内線)
		FAX	-	-
		E-MAIL		
派遣期間	(出国日～入国日) 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (日間)			

派遣研究者の 研究課題				
派	機 関 名	(外国語)		
		(日本語)		
遣	所 在 地	(外国語)		
		(日本語)		
先	研 究 指 導 者	(外国語)	職 名	(外国語)
		(日本語)		(日本語)
派遣期間等が基準により難しい理由				

希 望 ラ ン ク	<p>(希望するランクに○)</p> <p>Aランク……………(1) エイズ対策研究の分野において顕著な功績を有する者 (2) エイズ対策研究機関の長又はこれに準ずる者</p> <p>Bランク……………エイズ対策研究の分野において優れた研究を行っている者であって、上記以外の者</p> <p>(※Aランクを希望する場合は、理由書を添付してください。)</p>
派遣研究者の研究実績 (1) 要 旨	
(2) 最近3年間に学会誌等に発表した論文(Publication List)	

派遣を希望する理由・期待できる効果

派遣研究者の派遣期間中の研究計画

(エイズ対策研究における研究代表者の研究課題との関連についても併せて記入してください。)

(様式2)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

履 歴 書

(派遣研究者用)

平成 年 月 日

氏 名	フリガナ			写 真
	漢 字	印		
	ローマ字			
生 年 月 日	1 9	年	月	日生 (作成日現在 歳)
本 籍 地			戸籍上の性別	男 ・ 女
学 歴				
職 歴				
当財団以外に海外への派遣申請をしている場合	有 ・ 無	有りの場合はその申請先の名称及び選考時期		
派遣期間中の所属機関からの給与支給について	有 ・ 無	有りの場合はその1ヵ月当たりの金額		
現在所属している機関の身分	常勤職員 ・ 非常勤職員 ・ その他 ()			

(様式3)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派遣承諾書 (派遣研究者用)

平成 年 月 日

公益財団法人エイズ予防財団理事長 殿

貴財団の実施する外国への日本人研究者派遣事業によって、下記のとおり派遣されることを承諾します。

記

派遣研究者	氏名	印	職名
派遣期間	(出国日～入国日) 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (日間)		
派遣先機関	名称	(日本語)	
	所在地	(日本語)	
自宅住所	(〒 -)		
			TEL

(様式4)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派 遣 推 薦 書

平成 年 月 日

公益財団法人エイズ予防財団理事長 殿

推 薦 者	氏 名	(研究代表者又は研究分担者)	印	職名	
	所属機関 所在地	(〒 -)	TEL - - (内線) FAX - - E-MAIL		
	職 名				

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣研究者として、下記の者を推薦いたします。

記

被 推 薦 者	氏 名		職名	
	所属機関名			
推薦理由				

注：被推薦者（派遣研究者）は、推薦者（研究代表者又は研究分担者）と同一機関に所属していること。

(様式5)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派遣承諾書 (所属機関用)

平成 年 月 日

公益財団法人エイズ予防財団理事長 殿

所属機関の長	機関名			
	所在地	(〒 -)		
	職名		氏名	職印

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業によって、当機関所属の職員が下記のとおり派遣されることを承諾します。

派遣研究者	氏名		職名	
派遣期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)			
派遣先機関	名称	(日本語)		
	所在地	(日本語)		

(様式6)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派遣外国旅行行程調書

1 派遣研究者 氏 名	俸給表 職 () 級 号俸
2 派遣先機関所在地都市名・国名 市 国	
3 旅行日程 (1) 往路 日本出発 平成 年 月 日 出発空港名 空港 〔経由地 (国名)〕 到着地 (国名) (2) 復路 出 発 平成 年 月 日 出 発 地 (国名) 到着空港 空港	

(注) 俸給表・級号俸欄は国家公務員のみ記入してください。

派遣先機関からの招へい状

(添付)

招へい状の日本語訳
(添付)

(様式7)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派遣費用振込預金口座届出書

- 銀行及び取扱店名
銀行
支店
- 銀行コード番号
- 店コード番号
- 口座番号

(フリガナ)
- 口座名義
(派遣研究者)
- 預金の種類

上記のとおりお届けいたします。

平成 年 月 日

公益財団法人エイズ予防財団理事長 殿

(派遣研究者)

所属機関

所在地

氏名

印

(注) 預金通帳の表紙と2枚目の写しを添付すること。

(様式8)

[外国人研究者招へい事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派遣期間等変更申請書

平成 年 月 日

公益財団法人エイズ予防財団理事長 殿

申請者	氏名	(研究代表者)		
	所属機関及び職名	印		
派遣研究者	氏名	印	職名	
	所属機関			

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣者の派遣期間等について、下記の理由により変更を申請します。

記

変更事項		1 派遣期間	2 派遣先	(該当の数字に○をしてください。)
派遣期間	当初	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)		
	変更後	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)		
派遣先	当初			
	変更後			
変更理由 (具体的に)				
(※記入欄に不足が生じる場合は、A4判の用紙を使用してください。)				

(様式9)

[外国への日本人研究者派遣事業]
(エイズ対策研究推進事業)

派遣中止申請書

平成 年 月 日

公益財団法人エイズ予防財団理事長 殿

申請者	氏名	(研究代表者)		
	所属機関及び職名	印		
派遣研究者	氏名	印	職名	
	所属機関			
派遣期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)			

貴財団が実施する外国への日本人研究者派遣事業による派遣決定の通知を受けましたが、下記の理由により派遣を中止したいので申請します。

中止の理由 (具体的に)

※記入欄に不足が生じる場合は、A4判の用紙を使用してください。

